

▼エリル点滴静注液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ファスジル塩酸塩水和物 Fasudil Hydrochloride Hydrate 【分類】 ミオシン軽鎖リン酸化阻害剤

【単位】 ▼30mg/A [2mL]

【常用量】 1回 30mg を 1日 2～3回

【用法】 50～100mLの電解質液または糖液で希釈し 30分かけて点滴静注 [くも膜下出血術後早期に開始し 2週間投与することが望ましい]

【透析患者への投与方法】 排泄が遅延して血中濃度が持続する可能性あり、低血圧が認められた場合には減量 1回 10mg などに減量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 排泄が遅延して血中濃度が持続する可能性あり、低血圧が認められた場合には減量 1回 10mg などに減量 (1)

【特徴】 蛋白リン酸化酵素である Rho キナーゼを阻害してミオシン軽鎖のリン酸化を阻害する。血管の拡張、炎症細胞の活性化抑制、血管内皮細胞の損傷改善等をもたらすと考えられている。くも膜下出血術後の脳血管攣縮およびこれに伴う脳虚血症状の改善に使用。

【主な副作用・毒性】 肝機能異常、低血圧、頭蓋内出血、消化管出血、肺出血、鼻出血、皮下出血、ショック、麻痺性イレウスなど

【モニターすべき項目】 肝機能、腎機能、CBC、血圧

【代謝】 主代謝物は、イソキノリン骨格の 1 位の水酸化体及びその抱合体で、肝臓でアルデヒドオキシダーゼが関与 (1) 1-水酸化体は血管弛緩作用を示す (1)

【排泄】 尿中回収率 67% [未変化体+代謝物] (1) 【CL】 4.6L/hr/kg (1)

【t1/2】 16min (1)

【蛋白結合率】 36.2±10.5% (1)

【Vd】 3.43±0.25L/kg (1)

【MW】 336.84 [salt・hydrate]

【透析性】 資料なし (1) Vd が大きく、効率的には除去できないと思われる (5)

【O/W 係数】 0.193 [1-オクタノール/水系, pH7.0] (1)

【更新日】 20230107

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。